

# Q & A 営農地区懇談会

紀南地域本部は12月19日から1月14日にかけて令和7年度「営農地区懇談会」を各地区で開催しました。いただいた意見について一部ではございますが、内容を要約してご紹介します。

対策になります。またシキミの輪紋葉枯病は病原菌のため、梅の輪紋ウイルスとは異なりますので、感染することはありません。

**Q** エムダイファア水和剤の代替えは有るのか？

**A** 今のところは5月にテランフロアブルを勧めていくことになると思います。薬剤の特性上5月限定となると思いますが、効果はエムダイファアと同程度であると試験結果も出ています。新たに効果がある薬剤の情報があればお繋ぎしてきます。

**Q** 肥料の予約について、申込月に引き取らなければならぬのか。

**A** 農家の諸状況により、変更等は柔軟に対応させていただきます。品目によっては限定月の特別価格もありますので、十分確認の上お願ひします。

**Q** 梅の枝についている白いものが今年が多い。対策は？

**A** 外来種のチュウコクアミガサハコ口モの産卵痕と思われる。全国的に多くの果樹で発生が広がっています。本種に登録のある農薬はありません。剪定等で産卵痕の剪除をお願いします。

**Q** 今年度の米の価格は良かったが、このまま高単価を維持してほしい。農家・消費者どちらも納得できる価格を、今後JAが発信してほしい。

**A** 昨年来のコメ不足により各取引業者の引き合いが強く、価格も大きく上昇し末端小売価格も高騰しています。しかし、現在はそれらの影響によるコメの需要減退などを背景にコメ余りへの警戒感が強まっています。今後有利販売に努力してまいります。

**Q** レンタルチップパーを再開してほしい。

**A** レンタルチップパーは、使用・経年劣化により貸し出しできるレベルでは無くなり、事故の懸念もあつたため終了となりました。今のところ再開の予定はありませんが、ハンマーナイフモアのレンタルは引き続き行っていますので、ご利用ください。

**Q** 合併し、肥料・農薬価格はどのようになったのか。

**A** 価格はJA紀南の頃に比べて上がった品目、下がった品目があります。近年輸入原料の値上がりや工場の諸経費・人件費の上昇などにより、R7年度秋冬期と比べて価格は横ばい、もしくは若干の値上げとなっています。

## わたしのおもい



紀南地域本部 購買部長 大野 剛史

### 地域農業の発展のために

新体制のJAわかやまが発足し、旧JAでは地域差のあつた業務の統一が行われています。課題も多いですが、スムーズな運営のために努力が続けられています。

近年は異常気象や自然災害が頻発し、国内外で農作物に深刻な悪影響を及ぼしています。アメリカのカリフォルニア州では干ばつと異常気象により、トウモロコシや小麦の収穫量が大幅に減少。干ばつは2021年以降、顕著になっているといえます。

県内の農業発展や農家所得向上においてJAの役割は重要です。合併の規模を活かして市場の動向や変化に適応し、積極的な情報提供や支援が期待されます。

世界情勢は現在不安定な状況下にあり、これらは国内農業にも影響を及ぼします。長引くウクライナ情勢は肥料や資材価格高騰を引き起こし深刻な問題となっています。肥料の生産には石油や天然ガスが必要で、エネルギー供給の不安定さが増し、石油価格を押し上げていることが要因です。

積極的な新技術の導入で地域農業の効率性を向上させ、持続可能な農業の実現に寄与できると考えます。

JA宮崎の冷凍ホウレンソウ、JA香川のブランド冷凍苺(さぬきひめ)等に導入されており、農作物の水分や栄養素を保持し鮮度が長期間保たれることで販路拡大につながります。

**A** ウイルス病なので薬剤での防除効果はありません。このウイルスはアブラムシによって伝搬されますので、アブラムシ防除が蔓延防止

**Q** 梅の輪紋ウイルスに対して、薬剤は何をやればいいのか？シキミからうつることはあるのか？

**A** 栽培歴には一例を記載しているだけで、薬量と散布量を守ってもらえれば倍率は200倍でなくても結構です。草の種類によって、適した除草剤や使用倍率、効果・効能がそれぞれ異なるため、状況に応じた散布を行うことが重要となります。

**Q** 除草剤の倍数について、曆に200倍と記載があるが、それでないといけないのか？

# 女性のつどい 家の光大会

第1回

J Aわかやま女性会紀南地域本部は2月20日、田辺市の紀南文化会館で「第1回女性のつどい・家の光大会」を開きました。会員の体験発表や記念講演、アトラクション発表など大いに賑わいましたので、一部ではございますが、写真とともにご紹介します。

今大会のスローガン

「あい♡」からはじまる  
「元氣な地域」をみんなの力で

あなたが主役!

本部役員・顧問による  
オープニング



J A女性の歌合唱  
「明日輝くために」

開会あいさつ

JAわかやま女性会  
紀南地域本部  
瀧本かおり会長

本部長  
あいさつ

J Aわかやま  
紀南地域本部  
大炭敦史

家の光普及  
・文化活動優良表彰

なかへちブロック  
すさみブロック  
日置川ブロック

歌舞伎の世界へ  
ようこそ

記念講演

体験発表

歌舞伎  
役者

帆之巫さん  
はんのじょう  
のん

すさみブロック  
渡瀬道恵さん

ずっとつながっていく  
～いのち・農業・地域づくりのために～

い～よ～わ～ばん!

帆之巫さんによる隈取実演  
もあり、会場は大盛り上がり。  
見得を切るのは、芳養谷支店  
の榎本義人支店長です。



白浜ブロック  
踊り

宝来船まつり

各ブロック・支部・ふれあいグループ  
によるアトラクション発表



大阪万博  
行ってきたでー!!

日置川ブロック  
寸劇

すさみブロック  
合奏・朗読

春の小川  
ふじの山

町無形民俗文化財  
生馬扇踊り

上富田ブロック  
踊り



串本ブロック  
踊り

かおり音頭

とりんめい  
音頭

なかへちブロック  
踊り

世界に  
一つだけの花

田辺ブロック上芳養支部  
& フラダンスサークル  
フラダンス

フラガール  
虹き

田辺ブロック上秋津支部  
手話

3.0.10.0  
結業に巻





## ミカン

### ◆苗木の管理

苗木定植後は土壌の乾燥に注意し、かん水する。その際、根が土から出ている場合は覆土する。ただし、接木部が隠れるほど覆土をすると、樹勢低下に繋がる場合があるため注意する。発芽が始まるとアブラムシやミカンハモグリガ、アゲハ類の防除を行う。特に木が小さいうちは食害によって生育が遅れたり、枝が枯れることもあるため適期防除を心がける。

### ◆高接ぎ更新

高接ぎ更新は応急的・短期的な品種更新方法であり、苗木新植より短期間で成園化することができるが、長期的な視点では苗木による計画的な品種更新が望ましい。

高接ぎの中間台木は、樹勢がよく健全な木を選ぶ。接ぎ木後は肥料を少量ずつこまめに施用する。発根を促すた

め堆肥の施用やかん水の準備も必要となる。高接ぎ樹は直射日光が幹に当たりやすくするため、日焼け防止剤を幹に塗布することが望ましい。

### ◆摘蕾

新梢の発生が少ない木や、樹勢の弱い木では摘蕾を行い新梢の発生を促そう。開花の約1週間前頃、蕾が縦長に伸びてくる時期が適期となる。

### ◆春草の除草

気温の上昇に伴い、雑草の生育が旺盛になる。雑草が多いと地温が上がり、春肥を施用しても雑草に肥料成分を吸収され、効果的に効かすことができないため、早期の除草を心がける。

### ◆病害虫防除

#### ○そうか病

密植園や日当たりが悪く湿度が高い園、強風、多雨などの天候条件で発生が多くなり、近年本病発生園での発生程度が大きくなっている。特に昨年発生した園地では本年も注意が必要となる。防除は新梢が5〜10cm程度伸びた頃が適期となるため、自園地の生育状況を確認し、予防散布に努めよう。  
(上秋津支店営農経済駐在・小谷周平)

### ◆病害虫防除

収穫時期の近い小梅や古城、青果収穫用南高のある園地では、散布薬剤の収穫前日数に注意して防除を行う。

#### ○黒星病

枝の病斑中の菌糸で越冬し、胞子を形成して、降雨(雨水)によって4〜5月に果実に感染する。特に風通しの悪い園地や、夜露が降りやすい園地で発生しやすいため注意する。なお、4月が重要な防除期であるため、樹の上部から十分に掛かるよう、ムラのない丁寧な散布を心がける。黒星病の防除は、選択薬剤が多いため、栽培暦を参考に薬剤を選択しよう。

#### ○かいよう病

果実への主な感染時期は4月上旬から5月上旬頃で、気温が低いと後半まで感染する恐れがある。強風雨の多い年に多発しやすいため、気象変化に注意し、予防散布を徹底する。風が発生要因の一つであるため、多発園では防風樹や防風ネットを設置するのも有効である。

#### ○コスカシバ

成虫は4月中下旬から10月頃まで発生する。4月中下旬にスカシバコンシを10羽当たり50〜100本設置する。効果の不安定な地域では、幼虫の捕殺と薬剤防除を併用して密度を下げる。

#### ○カイガラムシ類

近年、ウメシロカイガラの発生が多くなり、その排泄物を栄養としてコウヤク病の発生も多くなっている。3月のアプロードフロアブル+アビジオンEの防除ができなかった場合や多発園では、モベントフロアブルを丁寧に散布する。

### ◆実肥

果実の肥大と樹勢の維持・強化、新梢の生育を促進するため、実肥を施用する。樹勢や着果程度によって加減して施用する。  
(芳養谷支店営農経済・三谷秀彦)

## スモモ

### ◆病害虫防除

#### ○黒斑病

黒斑病は、梅のかいよう病と類似した細菌病で、初発は葉で4月中下旬、新梢で4月下旬〜5月上旬、果実では5月上旬頃から収穫期まで発病する。強風雨により発生し、風当たりの強い園で発生しやすい。防除はマイコシールド(200倍・21日前まで・3回以内)を散布する。梅とスモモでは登録内容が異なるため注意する。黒斑病は果実に発生がはじまると多発する場合があるので、多発園では、10月、3月の銅剤防除を次年度より検討しよう。

#### ○コスカシバ

コスカシバ対策として、スカシバコンシを4月中旬に10羽当たり50〜100本設置する。

### ◆摘果作業

粗摘果は満開から30日ほど経ってから行い、50〜60日で仕上げ。摘果後の果実間隔の目安は、大石早生等の中玉品種8〜10cm、ソルダム等の大玉品種では10〜12cmとする。

(芳養谷支店営農経済・三谷秀彦)

## 梅

梅・スモモは、果実肥大が旺盛となる時期になるため、乾燥が続く場合にはかん水を行う。

# 水稲

## ◆種子消毒

馬鹿苗病やもみ枯細菌病の予防として、テクリードCフロアブルと、イネシンガレセンチュウ対策でスミチオン乳剤の混和液に種子を24時間浸漬させる。消毒後は水洗いせずに浸種する。

## ◆種子の浸種

出芽を揃えるため、種子消毒の終わった種子を水に浸し、十分に吸水させる。浸種期間は通常15度前後の水温で7日程度、1日の平均水温の積算値で100度を目安にする。水温は10〜20度の範囲内に保つことが望ましい。浸種後は十分に水切りをする。

## ◆播種

育苗日数は概ね18〜22日のため、田植日から逆算して播種日を決める。種子を厚播きにするると軟弱な苗になりやすいため、薄播きを心がける。覆土は種子が十分隠れる程度にし、苗立枯病の予防としてタチガレン液剤を散布する。

(営農課・愛須美博)

# 野菜

## ◆ウスイエンドウ

○整枝  
秀品率を高めるため、勢いの弱い細いツルを整枝する。開花時期に花

の下の節位から出るわき芽を除去することにより、実の肥大を促し、収穫・選別作業を軽減できる。また、風通しが良くなり、病害虫の発生を抑え、薬剤の効果も上がる。

## ○病害虫防除

●うどんこ病  
予防でトリフミン水和剤(300〜500倍・収穫前日まで・5回以内)、またはハチハチフロアブル(1000倍・前日まで・2回以内)を散布する。  
●灰色かび病、褐斑病、褐紋病  
予防でトップジンM水和剤(200倍・収穫前日まで・3回以内)、またはアフェットフロアブル(200倍・収穫前日まで、3回以内)等を散布する。

## ◆エダマメ

## ○播種

4月は直播き露地栽培の播種時期であり、発芽適温は25℃前後、地温確保のため黒マルチ被覆が適している。15℃以下になると発芽が遅れ発芽率も低下する。また、直播は鳥害を受けやすいためネット等を被覆する。  
畝幅は150cm(天面70〜80cm)、株間24cmの2条播きとし、植穴1カ所当たり2粒播きとする。播き過ぎると、日照条件が悪くなり、サヤ着きが悪くなるため注意する。

## ○施肥

エダマメは肥料をあまり必要としない作物のため、前作品目や圃場の地力を考慮し、施用量を決める。10kg当たり苦土石灰100kg、BMよりりん40kg、固形30号プラス20〜60kgを基準に施用する。

## ○病害虫防除

●タネバエ(播種前)  
ダイアジノン粒剤5(10kg当たり4〜6kg・収穫30日前まで・5回以内)を全面土壌混和又は作条土壌混和する。または、クルーザーM A X X乾燥種子1kg当たり8kg(リットル・播種前・1回)を塗抹処理する。(営農課・愛須美博)

# 花き

施設内の温度の上昇に留意して換気に努めるが、その際、花きのボリユーム、伸長を妨げる乾燥には注意し、適宜かん水を行う。

露地花きでは、ケイトウ等の播種・定植時期となるが、土壌の乾燥に注意し、適宜のかん水、または多雨に備えた排水路を整備しておく。病害虫の発生に留意し、薬剤防除を行うがいずれも初期防除が重要である。

## ◆立ち枯れ病

苗の定植後・発芽後の初期は立ち枯れ病に注意する。立ち枯れ病は土中にある糸状菌(立ち枯れ菌)が原因となる。春になって気温が上がってくると活性化し、降雨などによる多湿により広がる。立ち枯れ病の症状は、地際部の茎が褐色になって腐敗し細くくびれて枯死する。また広範囲に広がる可能性を持つ。

発生は早期に見つけ、リゾレックス水和剤(500〜1000倍・生育初期/5回以内・1mあたり3リットルの土壌かん水を行う。効果が感じられない場合は営農担当に相談し、他薬剤を検討する。  
(富田川営農経済センター・尾野敏之)

# 花木

4月に入ると病害虫の発生が増加していくため、発生状況に注意し、適宜防除を行う。

## ◆病害虫防除

## ○輪紋葉枯病

4〜9月に発生が多く、病斑は1〜2cmの赤褐色の円斑となり、病斑ができた葉は黄化して落葉する。空気伝染し周囲の木にも伝染する。風通しの悪い園で多く発生するため、防除は間伐を行うとともに、薬剤を散布する。

薬剤散布が困難な場合、症状が確認できた羅病木は、早めに抜き取って園外に持ち出し焼却する。防除薬剤はトップジンM水和剤(150〜200倍・発病初期・5回以内)。  
○シキミグンバイムシ  
グンバイムシは9月頃まで葉裏で増殖を繰り返す。幼虫・成虫とも葉裏に寄生して吸汁加害する。被害を受けた葉は表面に白斑が現れ、退色してカスリ状になる。発生は5月上旬頃からとされるが、発生初期の密度が薄い時点の防除が有効であるため、早い時期から留意しておく。軍配状の形をした透明のハネを持つ成虫が出現したらスミチオン乳剤(1000倍・5回以内)で防除する。

(富田川営農経済センター・尾野敏之)

※みかん、中晩柑、梅、スモモ、水稲の防除薬剤や施肥肥料は、JAわかやま紀南地域本部令和8年栽培暦を確認ください。



## ジュニア駅伝の参加選手に

### JA から記念品贈呈



チームの選手代表に記念品を手渡す稲葉支店長

JAわかやまでは地元ジュニアランナーを応援しようと「県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」に協賛・支援を行っています。2月8日に開かれた第25回大会には紀南地域本部管内から5市町が参加しました。

本番前には各地で結団式等が行われ、紀南地域本部から選手らにマフラータオルと梅干しグミを贈呈。1月23日に行われたすさみ町チームの結団式ではJAすさみ支店の稲葉睦典支店長が選手に記念品を手渡ししました。

## 第3回は健脚がテーマ

### 田辺支店が健康運動教室



田辺さんと一緒に体を動かす参加者

JAでは管内の組合員・利用者の健康づくりを目的とした健康運動教室を行っており、2月4日には田辺市の中部公民館でJA田辺支店が「健脚」をテーマに

開きました。

第3回目となる今回は、パーソナルトレーナー認知症ケア指導管理士の田邊雅司さんを講師に迎え、足腰を鍛える運動に挑戦。握力とInBody測定も実施し、参加者らは自身の現状を数値で確認しました。

## 児童の調理実習をサポート

### 鮎川支店が中辺路小で



児童をサポートする女性会員

JA鮎川支店は1月22日、中辺路小学校より依頼を受け、地元農家や女性会協力のもと児童の調理実習をサポートしました。

今回は児童8人が、お米炊きや主菜（卵焼き）、副菜（小松菜あえ）づくりに挑戦。包丁の使い方をはじめ、お米を炊くときの火の強さや時間の大切さを伝えました。

児童からは「みんなで作ったご飯はおいしい」との声が聞かれ、おかわりする子の姿も。主菜と一緒に梅干しも食べていました。

## 職場訪問を受け入れ

### 衣笠中1年生が田辺支店へ

JA田辺支店は2月13日、衣笠中学



田辺支店を訪れた生徒ら

校1年生による職場訪問「キャリア学習」を受け入れました。今回JAを訪れたのは、谷本瑛太さん、尼田咲江さん、那須陽葵さんの3人。「二番大変なことは何ですか」「この仕事を選んだきっかけは」などと質問したり、支店内の見学などを行いました。

## 小学新入生にレッスンバッグ

### 交通事故防止活動として寄贈

紀南地域本部は管内の公立小学校など41校の令和8年度新入学児童（687人）に反射材付きレッスンバッグなどを寄贈しました。

JA共済の交通事故防止活動の一環で毎年寄贈しており、レッスンバッグ

## 営農ローンの基準金利に関するお知らせ

令和7年3月31日以前のご契約者さまについて、令和8年度は営農ローンの基準金利（3.0%）から下記の金利を引き下げた金利を適用させていただきます。

令和8年度 引下金利：0.4%  
（適用金利：2.6%）

金利環境によりましては、さらに変更となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。



オンラインショップ



まめまめセット  
約2Kg  
¥4,530(送料無料)

大粒でふっくらとした「紀州うすい(うすいえんどう)」と甘みがありホクホク食感の「そらまめ」を1kgずつセットでお届けします。

ご注文はこちら



野田教育長(左)に目録を手渡す佐武副本部長

は周囲から視認しやすい反射材付きとなっております。

2月16日には佐武範彦副本部長らが田辺市の野田泰輔教育長に目録とレッスンバッグを寄贈しました。このほか金融部からは地域貢献活動の一環として、文房具（ノートと鉛筆）も進呈しました。

## 4/17 JA総合相談会

(弁護士・税理士による無料相談会)

- 相談会場 紀南地域本部
- 相談時間 9時～12時
- 問合せ先 金融部 ☎0739-23-3516

# ふれあい広場



ENJOY  
セカンド  
ライフ

串本町二色  
しばもと あけみ  
芝本 明美さん

## 娘とともにパン屋「LINK」をオープン 最近始めたベーグルも好評

串本町で娘とともにパン屋「LINK」をオープンし、今年の5月で3年を迎えます。小さなお店なので提供数に限りがありますが、町内の方をはじめ多くの方に来店いただき、ありがとうございます。

私は接客がメインで、パンづくりは娘に一任していますが、常時25種類ほどをご用意しており、最近始めたベーグルも好評です。

水・土・日のみでの営業とはなりますが、これからも細く長く続けられるよう、皆さまに愛されるパン屋をめざして親子で頑張ります。

Instagramはこちら



@BAKERY\_LINK



すくすく  
Memory

田辺市中芳養

おだ あらた 小田 新くん(2歳)      おざき あおば 尾崎 葵羽ちゃん(2歳)

## ご近所さん同士、いつも仲良し！ もうすぐ赤ちゃんに会えるんだ！

慎重な性格で優しいという新くんと、活発で好奇心旺盛という葵羽ちゃん。ご近所さん同士一緒に過ごすことも多く、ボールプールで遊んだり、白浜町のアドベンチャーワールドに行ったり楽しんでいるみたい。最近是一緒にアンパンマンミュージアムにも行ったんだって。

4月にはそれぞれお兄ちゃん、お姉ちゃんになるという2人。赤ちゃんと会える日が待ち遠しいなあ。

### ご家族から一言

今のまま健康で元気に、そして4月からはお兄ちゃん、お姉ちゃんとしてよろしくね

## 生産者 紹介 今月の きなん産地人

すさみ町太間川

むかい かつゆき  
向井 克住さん

### 故郷で家族と農林業に従事



消防士として30年勤めましたが大病を患い退職。現在は防災士として活動しながら、母、妻とともに故郷の太間川地区で農林業に従事しています。農業については水稲と野菜栽培の2本柱で、JAのほか地元ホテルなどにも出荷しています。

「ふるさとワーケーション」やインバウンド（訪日外国人）の受け入れも増えており、7月にはアメリカから1組のご家族が来日予定です。

今後何より健康第一で“無理なく無駄なくムラなく”をモットーに、加速する気候変動に適応できる先見の明を養いたいと思います。

## 地域本部の JA職員です



中央支店

わせだ みさき  
早稲田 未咲さん



3月に子どもが生まれるので、今から楽しみです。いつか家族で日本各地を旅行してみたいです。

### 金融部 金融課

くすもと  
楠本 まどかさん

YouTubeの料理動画が好きで、たまに見よう見まねで作っています。普段あまり料理をしないので、煮物など家の味を身につけたいと思っています。

